

51.1.1

藤巻 だより

静かな環境を守り
高速道路に反対する会

運動本部

オ2回 総会予告 1月25日(日) 1時~4時
西山処理場
水野名大教授(環境衛生)の講演と予定

前号 都さんのレポートのつづき

《その3 太田邑の自動車調査》

11月19日 邑内の主要幹線道路(環状7号)(大京浜)(産業道路)の沿線住民を対象にして自動車公害の実態調査を発表した。

対象のうち80%が“公害あり”と答える。物的被害として草花、屋根、ガラスの汚れ、テレビ画面の乱れ、家屋のゆがみを訴え、20%が本人や家族に呼吸器系統の病気を訴えた。40%が移転を希望している。(11月20日)

《その4 埼玉の騒音調査》

騒音の発生源は自動車60% ほとんど高速道路関係で防音壁や交通規制では限界があり“音のマスク法”の判定が必要段階である。(11月16日)

《その5 東京住民運動連絡会が発足》

「太田邑から公害をなくす会」など27団体がかつ呼びかけた“住みよい環境をつくる東京住民運動連絡会”の設立総会が5日規約を決め発足した。(11月6日)
(都)

研究部

騒音について

許容騒音値

時間	昼間(8~20時)	朝夕(6~8時 20~22時)	夜間(22~6時)
音量(ホン)	55	50	40

静かな藤巻町は規程以下で山田民(藤巻町3-2)で午前10時半に測定した結果38ホン(10分間50回測定した平均値 飛行機が2台通過し頭上に来た瞬間は60ホンだけれどもサッと過ぎるので平均値の影響は少ない) 恐し例外がある。東山道路沿いの信貴山の下S氏宅で朝8時前後測定した結果、驚くべし65ホン ラッシュの一番さわがしい時とはいえ殆ど通勤の乗用車ばかりでこの値である。

大型トラックがどんどん走る高速道路が引いたら我々のうける騒音被害はどんなで計り推して知るべきである。(山田)

交渉部

1月10日 部会予定

51年明けて積極的に内外と交渉してよりよい結果たらんことを期すべく努力する
(池田)

連絡部

名古屋都市高速道路 反対連絡協議会 (代表 大川浩正氏)

11月総会 藤巻より白砂(連絡)渡辺(研究)柘植(本部)

12月 " " 安部(連絡)柘植(本部)

が出席、内容をお知らせします。

名古屋全市 1km に已切った窒素酸化物測定

の結果、天候的(2日間測定のうち1日雨)や

測定操作不手際のため全体的に他の組織

で行ったより低い予想外の結果、新年度

1月19日より 1週間連続測定 をすることになり

薬品1本50円位 必要とのこと、又1月18日は

公害地の現地調査の予定された午前10時

上社駅集合しマイクロバスで環状2号線と都市高速1号線の分岐点

高針インター予定地を見て藤巻町より南下して大高インターから北上 要町を見学

して堀田の橋脚までの予定

「要町 松永・森 両氏の報告」

要町では現在 名四国道 沿線住民に対し当局より坪30万~35万という

膨大な土地 買上げ価格を示し立ちのきをせまっているがこの地は

個人個人では土地を処分することが出来ない様にしてあるから大丈夫

ではあるが切りくずし工作にみあったら大変だ。

又当局の係員が51年7月までに大高一松田橋間を完成 10月までは

堀田まで開通させたいと意向をもらしたので51年度はなにをさせておいても

ヘルメット姿で座り込みをすることになるだろう。

「堀田 藤氏の報告」

都市高速2号線の工事はいよいよ南区より一部瑞穂区内に入ってきた

了解なしに工事が進行されるので大川先生ともう一度市へ取りやめの

抗議に行かなくてはならないと思う。市当局も最近 高速道路反対運動を

馬鹿にしてなめているようだ。なほ環状2号線山田一小幡間で高速道路予定地

の両側に脇道らしい工事が始められている。市当局も先の大坂空港公営訴訟

における住民側の全面勝利と「環境アセスメント」のような我々にとって明るい

ニュースにも加かわらず史上最大の不況に対処すべく全国的に大規模な公共投資に

ふみきるものと思う。この様な状況のもと藤巻町全員スクラムをくみ他の反対運動と

協力し情報を交換しあいもつと強かに反対運動を推進する必要がある(柘植)

調査部

静かな緑多い環境を全面的に創出す高速道路に反対する村

努力します。(次号につづく 田島)

広報部

新年おめでとうございます。私共つたない編集で

お見若い所は多々あると思ひます。どうぞ本年もよろしくお願ひ致します。

